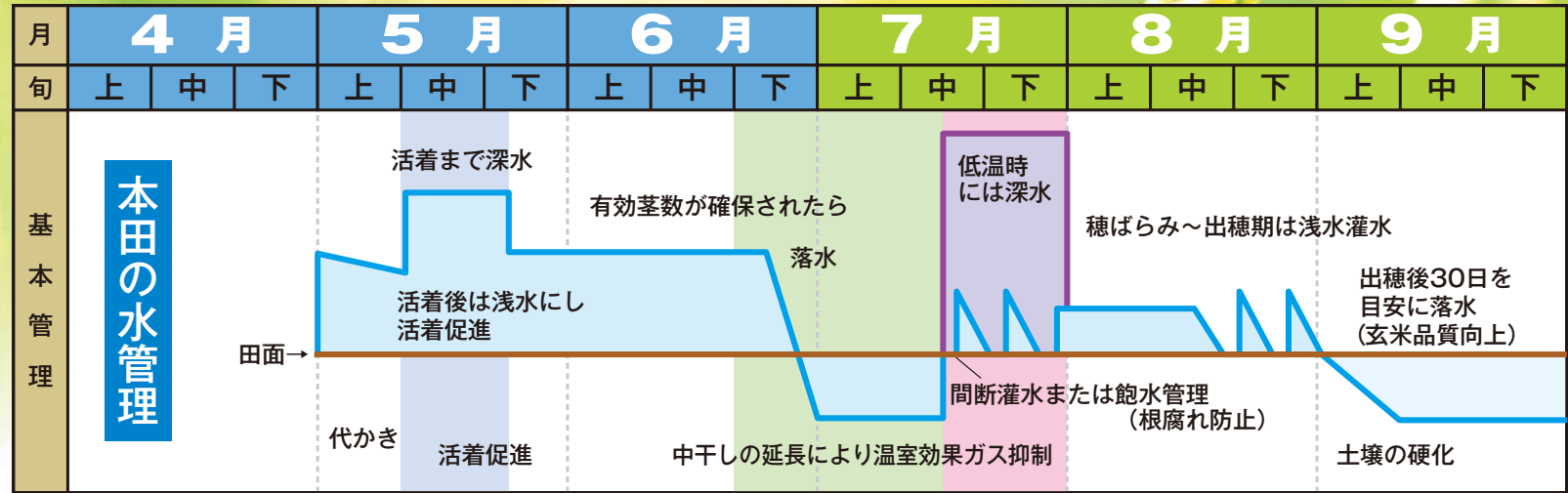


JAみやぎ登米 令和6年産 環境保全米Cタイプ栽培ごよみ

監 修：宮城県登米農業改良普及センター（使用資材の選択は、JAみやぎ登米による）



障害不稔の回避

幼穂形成期や減数分裂期に、平均気温で**20℃以下**、最低気温で17℃以下の日が数日間連続すると不稔障害が発生する危険があります。低温時には以下の深水管理を行いましょう。

【幼穂形成期】

●水深10cm程度

【減数分裂期】

●水深17～20cm程度

高温障害の回避

出穂期後の平均気温が**27℃**を超える高温が数日間連続すると高温障害の影響を受けやすくなります。[昼間深水・夜間落水管理]や[土壌の湿潤状態を保つ管理]を行い、圃場の水温・地温の上昇を抑えましょう。

【令和5年管内出穂期】

●7月30日

【平年管内出穂期】

●8月1日

異品種混入防止の徹底

複数品種を栽培している場合は、異品種混入防止のため播種や育苗時に品種別に育苗箱の区分をしたり、収穫・乾燥・調製機械の清掃を徹底しましょう。異品種混入が確認された場合、損害賠償責任問題まで発展する場合がありますので留意下さい。

栽培を記録しておきましょう	堆肥	土づくり肥料	育苗肥料	播種	基肥	田植え	除草剤	中干し	追肥	カメムシ防除	収穫
	月 日	品名 () 月 日	品名 () 月 日 1箱 g	月 日	品名 () 月 日	月 日 10a 箱	品名 () 月 日	月 日 月 日	品名 () 月 日	品名 () 月 日 10a kg	月 日 月 日
	10a kg	10a kg	タチガレン剤 月 日	月 日	10a kg	箱処理剤 月 日	10a kg	中干し期間 日	10a kg	畦草刈日 月 日	月 日 月 日

1 土づくり

①良質堆肥の施用

土壌の保肥力や膨軟性向上のため良質堆肥を施用し、持続的安定生産の確立に努めましょう。

土 壌	10aあたりの堆肥散布量	
	有機センター堆肥	自家製良質堆肥
泥炭土・黒泥土	0.3～0.5 t	0.8～1.0 t
グ ラ イ 土		1.0～1.2 t
灰色低地土		1.0～1.5 t

②土づくり肥料の施用

土づくり肥料の施用は、稲の健全化と登熟歩合向上につながります。また、けい酸は、根・茎・葉を丈夫にし病害虫・冷害・高温障害・倒伏に強い健康な稲づくりに有効ですので、積極的に施用しましょう。

土 壌	10aあたりの施用量			
	ケイカル(粒・砂状)	ようりんケイカル13号	とれ太郎	みつパワー
泥炭土・黒泥土	120～160kg	200kg		
グ ラ イ 土	80～100kg	160kg	60～80kg	60～120kg
灰色低地土	60～100kg	140kg		

2 施 肥

生育期間中（育苗＋基肥＋追肥）に使用する化学肥料のチッソ成分量は慣行施用量の1／2にあたる3.5kg／10a以下とします。

①育苗肥料

育苗専用肥料（1箱あたり20g）
またはロング入り育苗肥料（1箱あたり60g）

②基 肥

肥 料 名	量目	成分（％）			窒素成分量（kg／袋）			10aあたり基肥量及びNK化成での追肥量（現物量）	
		N	P	K	全窒素量	化学窒素	有機態窒素	基肥量	追肥量
みやぎ米有機一発090	20kg	10	9	10	2.0	0.90	1.10	3袋以内	不 要
基 肥 一 発 2 号	20kg	10	8	8	2.0	0.98	1.02	3袋以内	不 要
ヘルシーライス有機2号	20kg	8	8	5	1.6	0.7	0.9	3袋以内	7kg以内
有機アグレット666号	20kg	6	6	6	1.2	—	1.2	3袋以内	状況を見て
バイオノ有機S	20kg	7.4	4.4	2.7	1.48	—	1.48	3袋以内	状況を見て
フレーバーペースト734	20kg	7	3	4	1.4	0.6	0.8	2袋以内	状況を見て

③追 肥

品種名	肥料名	追肥時期	現物量	化学肥料（チッソ成分量）
ひとめぼれ等	NK化成C68号	出穂20～25日前頃 出穂10～15日前頃	6.25kg／10a	1.0kg／10a
	流し込み追肥35	出穂20～25日前頃 出穂10～15日前頃	3 kg／10a	1.0kg／10a

3 種もみの準備・病害虫防除・除草剤

①種子消毒

◎種子は、**全量更新したもの**とします。
◎種子消毒は、「温湯消毒」殺菌法によるものとします。（63℃5分または60℃10分）
＜ばか苗病対策＞
◎温湯消毒と併せて微生物農薬による防除を推奨します。消毒後の種もみは、カビやばか苗菌などの二次感染を防ぐため、稲わらやもみ殻、むしろ等の近くに置かないようにしましょう。また、地面に直接置かないように保管しましょう。

薬剤名	使用時期	希釈倍数	使用方法
エコホープDJ	浸種前～催芽前 催芽時	200倍	24～48時間浸種 24時間浸種
タフブロック	催芽前 催芽時	200倍	24～48時間浸種 24時間浸種

②浸種

水温5～10℃くらいで時間をかけて行いましょう。水交換は1日おきを目安にしましょう。

浸種の日安	ひとめぼれ	水温10℃で12日間（積算温度120℃）
	ササニシキ	水温10℃で10日間（積算温度100℃）

◎苗立枯病・ムレ苗防止
タチガレン粉剤またはタチガレン液剤を施用します。

薬剤名	使用量	使用時期・方法	成分数
タチガレン粉剤	ムレ苗防止は4～8g／箱 苗立枯病は3～6g／箱	播種前に床土混和	1
タチガレン液剤	500～1,000倍 箱あたり500ml	播種時及び発芽後灌注	

③病害虫防除（箱処理剤）

デジタルコラトップアクタラ箱粒剤またはデジタルメガフレア箱粒剤、デジタルミネクト箱粒剤の3剤から1剤を選択し施用します。

薬剤名	対象病害虫	使用時期・使用量	成分数
デジタルコラトップ アクタラ箱粒剤	イネミズゾウムシ いもち病、ウンカ類	移植前3日～ 移植当日 1箱あたり 50g	2
デジタルメガフレア 箱粒剤	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ いもち病、ウンカ類 カメムシ類	移植前10日～ 移植当日 1箱あたり 50g	
デジタルミネクト 箱粒剤	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ いもち病	移植前10日～ 移植当日 1箱あたり 50g	

※箱処理剤の効果を最大限に発揮させるためにも、**育苗箱一箱当たりの使用量50gを確実に施用して下さい。**

※**斑点米カメムシ対策の場合はデジタルメガフレア箱粒剤、イネドロオイムシ対策の場合はデジタルミネクト箱粒剤が有効です。水田の状況に応じ選択の上施用してください。**

④除草剤

薬剤名	10aあたり使用量	使用時期	成分数
カイリキZ 1キロ粒剤	1 kg	移植時 移植直後～ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	3
カイリキZフロアブル	500ml	移植後3日～ ノビエ3葉期 ただし移植後30日まで	
カイリキZジャンボ	小パック 10個 (300g)		

◎水田除草剤使用については、4日以上 の湛水状態を保つ必要があるため、畦塗りなどの畦畔整備に努めましょう。

◎**耕起前及び畦畔除草作業での除草剤使用はできません。（除草剤の水田への流入及び農薬使用成分数増加のため）**

⑤いもち病・稲こうじ病・紋枯病

◎いもち病・稲こうじ病・紋枯病が発生した場合は、お近くの営農経済センターまでご相談下さい。

⑥カメムシ防除

◎斑点米カメムシ類の被害を防ぐため、畦畔等の草刈りを徹底しましょう。また、本田防除行う場合はキラップ剤を施用します。

薬剤名	10aあたり使用量	使用時期	成分数
キラップ粒剤	3 kg	出穂10日前～出穂期 (収穫14日前まで) ※散布後少なくとも 7日間は湛水	1
キラップ粉剤DL	3～4 kg	出穂後7日～10日頃 (収穫14日前まで)	
キラップフロアブル	1,000～2,000倍液 60～200 ℓ		
キラップフロアブル (無人ヘリ)	8～16倍液 0.8 ℓ		

◎**耕種的防除**
水田周辺の草刈りは、年3回（5月下旬・6月下旬・7月下旬）の草刈りを奨励します。
特に7月下旬（出穂10日前まで）の一斉草刈りを徹底するよう心がけましょう。

4 収穫・乾燥調製

①収穫時期の目安

圃場を観察し、籾の80～90％程度が成熟して黄色になり、穂軸の先端から1／3程度が黄化した時期が刈取適期となります。刈遅れになると着色粒や胴割粒が増加し、品質を大きく低下させる原因となるので注意しましょう。

品種別の刈取目安

品 種	出穂後日数	出穂後積算気温
ひとめぼれ	40～45日頃	940～1,100℃
ササニシキ	45～50日頃	930～1,150℃

②乾燥・調製作業

◎乾燥機の能力に合わせた刈取を行い、**玄米水分が14.5％～15.0％**になるよう調整し、高温急速での乾燥はしないようにしましょう。
◎**ライスグレーダーの網目は1.90mm**を使用し、**整粒歩合80％以上**の1等米に仕上げましょう。

残留農薬のポジティブリスト制度

残留農薬のポジティブリスト制度がはじまり、今まで対象作物に残留基準値が示されていない農薬にも、全て0.01ppm（1億分の1）という低い残留基準が設定されています。この基準値をオーバーしてしまうと、**生産物の出荷停止・回収**などの対応が求められる可能性があります。

農薬散布の際には、これまで同様、**農薬使用基準に基づく使用方法を遵守**するとともに、周辺への**農薬の飛散（ドリフト）**に配慮しましょう。

※お問い合わせは、最寄りの営農経済センター・あぐりセンターにご連絡下さい。